

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

教職実践力高度化コース/  
西村 公孝

### ■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが（平成24年8月28日）、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

#### 1. 目標・計画

教職大学院定員確保のために、私立大学や教育委員会を訪問し、教職大学院の院生募集に貢献する。

#### 2. 点検・評価

- ①授業内容の工夫については、後期の教職大学院授業において現代社会の教育課題について社会系教科の視点から探究し、院生の授業評価で4.5以上の高い評価を得た。
- ②すべての授業において対話を重視し、発信型授業理論を部分的に取り入れた。
- ③授業評価については、ガイダンスで観点を示し、課題等により形成的評価を実施した。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

教職大学院生の実習を支援する。  
課外活動の茶花道部の顧問として部活を支援する。

#### 2. 点検・評価

- ①教職大学院六期生、五名の教育支援を行い、一年間の先行研究分析について冊子にまとめた。
- ②茶花部の顧問として活動を支援し、大学祭等において河崎先生と協働して成果を公にした。
- ③学校教育実践コースの三年生の授業を担当し、教育実習における社会科学習指導案作成を指導した。

### Ⅱ－2. 研究

#### 1. 目標・計画

学位論文の成果を図書として刊行し、研究の成果を学会等に還元する。

#### 2. 点検・評価

- ①学位論文の成果を東信堂から『社会形成力育成カリキュラムの研究』として一月末に刊行した。
- ②愛知県豊橋市立西郷小学校、岡崎市立矢作南小学校、井田小学校、城南小学校の研究支援を行った。

## Ⅱ－3. 大学運営

### 1. 目標・計画

教職キャリアセンセンターにおける教育実習関係のプロジェクト(2年目)を推進する。

- ①教育実習参加要件の改善・実行
- ②教育実習評価について、附属幼稚園、附属特別支援学校の主免実習を対象に、附属小中を含めた附属校園の調整を図る。
- ③教育実習プログラムの素案を作成するために、大学の実習の体系化を図り、附属学校園と協力して教育実習プログラムを作成する。
- ④四国の他大学と共同・連携して遍路型実習の可能性を探る実習課題を明確化する。

### 2. 点検・評価

- ①教育実習の参加要件の改善について、学部生が活用しているキャリアノートと関連させて行った。
- ②附属四校園の実習評価を調整した。
- ③教育実習プログラムを作成し、四年間の体系化をパンフレットにまとめた。
- ④四国の他大学との連携を図り遍路型実習の在り方を協議した。

## Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

昨年度に引き続き、附属小学校の研究協力者として、研究を支援する。  
日本学校教育学会と合同して日本グローバル教育学会を本学で8月に開催する。  
教職大学院の研修の一環として、また、将来の本学の教育実習体系化に向けて海外の日本人学校を訪問し研修や実習の可能性を探る。

### 2. 点検・評価

- ①附属小学校の共同研究者として研究を支援し、二月に発表会を行った。
- ②日本学校教育学会と合同して日本グローバル教育学会全国大会を八月に本学で開催し、300人の参加を得た。
- ③免許更新講習を七月と八月の二回行い、50名以上の受講生に研究の成果を還元した。
- ④徳島県の明るい選挙推進いいとして中国・四国地区の研修会講師を担当した。
- ⑤メルボルン日本人学校及び補習校を訪問し、教育実習の体系化の課題を探るとともに、現地校を訪問し院生の国際交流を支援した。
- ⑥総務省の明るい選挙推進委員会が後援する「大人のための選挙」教材を開発し、自治省のホームページに掲載した。
- ⑦金融経済教育研究会の委員として活動した。

### Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

教育実習に関する二年目のプロジェクトを推進し、学部四年間及び四週間の体系化を図る案を作成し、コア・カリキュラムと連動させた学びの構造化についての成果を冊子にまとめた。